

## 第6章 芸術文化

第1節 芸術文化の振興

第2節 宮城県美術館

# 第1節 芸術文化の振興

## 1 基本方針

県民の豊かな情操を培い、潤いのある生活の実現を目指し、かおり高い芸術文化の振興を図るため、県・市町村が一体となって文化行政施策の充実に努める。

## 2 施策の重点と具体策

### (1) 芸術鑑賞機会の充実

優れた芸術を鑑賞する機会の提供と芸術鑑賞能力の向上、豊かな情操のかん養を図るため、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

ア 文化庁との共催による次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業49公演、震災のため1公演中止、派遣事業12事業、他2種別)、他に「東日本大震災復興支援対応」事業として文化庁から委託を受けたみやぎ実行委員会との共催により派遣事業70事業を実施

イ 財団法人日本青少年文化センター、社団法人日本児童演劇協会、市町村等教育委員会との共催による宮城県巡回小劇場(20会場)

ウ 県・仙台市・仙台市教委・社団法人宮城県芸術協会・河北新報社・財団法人宮城県文化振興財団との共催による宮城県芸術祭の実施

### (2) 参加し創造する文化活動の充実

県民が参加し、創造する文化活動の活性化を図るため、市町村教育委員会・県市町村文化団体及び高等学校文化連盟などとの連携のもとに、次の施策を実施した。(第6-1表参照)

ア 国民文化祭参加支援事業

イ 地方青年文化祭・県青年文化祭・全国青年大会派遣事業

ウ 高等学校文化活動助成事業(全国高等学校総合文化祭派遣事業、宮城県高等学校総合文化祭開催事業他)

エ 市町村文化祭・各種展覧会との連携による地方音楽会(2会場、震災のため2会場中止)、絵画・書道展(2会場)

### (3) 共催並びに後援等の援助奨励

県内全体を対象とした各種芸術文化活動及び事業に対し、積極的に共催・後援を行い、優れたものには教育長賞を贈り、奨励・育成を図った。

### (4) 河北美術展への補助

震災による会場被災のため開催中止

### (5) 地域文化功労者表彰

本県の芸術文化の普及向上に努めた功により、次の方が芸術文化・文化財保護部門で文部科学大臣表彰を受けた。

日下 常男(日下 常由)

永年にわたり、洋画家として優れた作品を発表するとともに、社団法人宮城県芸術協会等の要職にあって、地域の芸術文化の発展に貢献している。

高橋 伸介(高橋 孤舟)

永年にわたり、書家として優れた作品を発表するとともに、社団法人宮城県芸術協会等の要職にあって、地域の芸術文化の発展に貢献している。

牡鹿法印神楽古実会

大正三年設立以来、県指定無形文化財「牡鹿法印神楽」の保存と継承に尽力し、地域の文化財保護に貢献している。

第6-1表 平成23年度芸術文化関係事業

事業		期 日	会 場	入場者	参加者・参加作品数等
第48回宮城県芸術祭	開 場 式	9月23日	せんだいメディアテーク 5F	(参加) 70	
	書 道 展	9月23日～28日	せんだいメディアテーク 5・6F	4,212	322点
	工 芸 展	9月23日～28日	せんだいメディアテーク 5F	2,104	84点
	絵 画 展	9月30日～10月12日	せんだいメディアテーク 5・6F	10,938	日本画60点 洋画239点
	華 道 展	9月30日～10月5日	せんだいメディアテーク 5F	2,884	前期32点 後期32点
	彫 刻 展	9月29日～30日	せんだいメディアテーク 5F	2,154	仲間展5点 会員作品26点
	写 真 展	10月7日～12日	せんだいメディアテーク 5F	2,583	115点
	文 学 散 歩	9月27日～28日	“青森・八戸方面”	(参加) 34	
	茶 会	10月9日・16日・23日	輪王寺	3,729	
	長 唄 演 奏 会	10月16日	仙台市民会館小ホール	194	出演32名
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日			950部発行
	音 楽 会	10月31日	仙台市青年文化センター	531	出演14名
	文 芸 祭	10月30日	仙台市戦災復興記念館	59	
	工 芸 展 蔵 王 展	10月14日～19日	蔵王町ふるさと文化会館	560	53点
	写 真 展 栗 原 展	11月8日～13日	栗原文化会館	260	115点
	絵 画 ・ 書 道 展 大 和 展	11月7日～13日	大和町まほろばホール	677	日本画14点 洋画44点 書49点
	絵 画 ・ 書 道 展 塩 竈 展	11月16日～20日	ふれあいエスブ塩竈	578	日本画15点 洋画41点 書47点
	参加 行事	第42回洋舞合同公演	2012年1月29日	電力ホール	1,073
閉 会 式		11月24日	ホテルメトロポリタン仙台	(参加) 256	
第63回宮城県合唱祭		10月10日	宮城学院女子大学講堂	250	出演 54団体 1,100名
平成23年度宮城県写真展		11月22日～27日	県民ギャラリー	1,238	110点
合 高 等 学 校 文 化 祭 総	音 楽 祭 (第34回)	10月17日	仙台市青年文化センター	630	合唱, 合奏, 器楽の発表
	演 劇 コ ン ク ー ル (第49回)	11月12日～13日	仙南芸術文化センター	695	各地区代表による県大会
	書 道 展 (第60回)	12月6日～11日	県民ギャラリー	1,163	県内高校生の作品
	美 術 展 (第64回)	1月18日～22日	県民ギャラリー	2,498	県内高校生の作品

事業		期 日	会 場	入場者	参加者・参加作品数等		
地 方 音 楽 会		23年9月12日	東松島市立鳴瀬第一中学校	340	震災により日程変更		
		24年2月10日	七ヶ浜国際村	—	震災により開催中止		
		2月11日	大和町まほろばホール	650			
		2月12日	気仙沼市民会館大ホール	—	震災により開催中止		
第26回国民文化祭・京都2011		10月29日～11月6日	京都市・京都会館 京都市・祇園甲部歌舞練場 京都市・京都バルスプラザ 精華町・京都府立けいはんなホール 京都市・京都府立府民ホールアルティ 京都市・京都会館	30 7 5 24 11 58	全国吟詠剣詩舞道祭 日本舞踊の祭典 小倉百人一首かるた競技全国大会 少年少女合唱フェスティバル 洋舞フェスティバル 吹奏楽の祭典		
文 化 庁 事 業	次代を担う子どもの文化芸術体験事業	巡回公演事業	合 唱	9月15日, 11月21日	1校 (角田市立西根小学校)	240	二期会合唱団
			オ ー ケ ス ト ラ	6月15日～2月6日	3校 (登米市立北方小学校他)	1,524	財団法人群馬交響楽団
			オ ー ケ ス ト ラ	6月28日～12月9日	4校 (気仙沼市立鷹折小学校他)	1,066	セントラル愛知交響楽団
			音 楽 劇	10月17日～1月19日	3校 (石巻市立広瀬小学校他)	779	藤原歌劇団
			演 劇	7月20日～1月26日	11校 (蔵王町立立宮中学校他)	3,429	劇団 東京芸術座
			児 童 劇	10月18日～2月14日	7校 (山元町立坂元小学校他)	1,418	劇団うりんこ
			ミ ュ ー ジ カ ル	9月30日～11月29日	1校 (亶理町立荒浜小学校)	210	ミュージカルカンパニー「アップフォース」
			演 芸	10月24日～2月23日	8校 (古川学園中学校他)	2,212	社団法人 落語芸術協会
			邦 楽	9月5日～12月14日	7校 (気仙沼市立小泉小学校他)	1,919	邦楽グループ「玉手箱」
			パ レ エ	8月24日～10月28日	4校 (東松島市立矢本東小学校他)	2,156	法村友井バレエ団
	派遣事業		5月31日～2月9日	11校12事業 (石巻市立須江小学校他)	2,329		
		<東日本大震災復興支援対応>	8月26日～2月27日	70事業 (63会場) 小・中・高校・幼稚園・児童館・公民館・集会所・仮設住宅等	10,819	県内10団体により「みやぎ実行委員会」を設立し文化庁委託事業として実施	
		子ども 夢・アート・アカデミー	9月14日～12月2日	5校 (石巻市立山下中学校他)	967	日本芸術院会員を学校に派遣	
		児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験	6月9日～9月3日	1校 (尚綱学院高等学校)	71	文部科学省初等中等教育局教育課程課との連携事業	
芸術鑑賞巡回事業	巡回小劇場	音 楽	10月3日～7日	県内10会場 (4市2町)	2,713	「オペラ」ってなあに?	
		演 劇	9月5日～29日	県内10会場 (2市6町1村)	4,319	「金剛山のトラたいじ」「チェーホフ先生こんにちわ」	
	青少年劇場小公演		9月5日～10月14日	県内8会場 (2市5町)	1,290	語り「杜子春」	
				県内14会場 (2市2町)	2,500	ヴァイオリンとチェロコンサート	
				県内9会場 (2市1町)	1,036	馬頭琴コンサート	
		県内7会場 (2市2町)	1,065	しゃみせんコンサート			
青年文化祭	地方青年文化祭		23年11月13日	気仙沼市立津谷小学校体育館	423	演劇・合唱・郷土芸能・意見発表・ 人形劇・生活文化展他	
			24年1月22日	大崎生涯学習センター	1,143		
				大郷町文化会館	279		
			24年2月5日	登米市津山公民館	200		
			24年2月12日	東松島市小野市民センター	301		
			24年2月26日	川崎町山村開発センター	500		
		24年3月24日	栗原市若柳総合文化センター	155			
宮城県青年文化祭			東日本大震災のため開催中止				
全国青年大会 (文化祭関係)		23年11月11日～14日	日本青年館他	—	(宮城県選手団芸能文化の部65人)		

## 第2節 宮城県美術館

### 1 運営方針

本美術館は、地域社会に根ざした、特色ある近代的な美術館として、県民生活に密着し、県民に親しまれる総合美術センターとなるよう運営する。

すなわち、美術館としての充実した調査研究活動を踏まえ、①優れた美術作品を収集、展示して鑑賞の機会を提供し、②県民の積極的参加による創作活動の推進を図り、③美術に関するさまざまな体験交流の場となるよう活発な教育普及活動を行い、さらに④美術に関する他の領域と連携して文化的諸活動を行う。

これらの活動を通じ、地域における特色ある総合美術センターとして、県民に生涯学習の場を提供し、県民が自らその教養と情操を高め得るように努め、本県の芸術文化の発展に寄与する。

#### 実践のための方針

##### (1) 美術作品等の展示

国内外の優れた美術作品、資料等を組織的に展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供して、芸術文化の向上に資する。

- ① 常設展示
- ② 特別展示

##### (2) 教育普及活動

広く芸術諸分野の活動と連携しながら、県民が鑑賞、創作、研究等のさまざまな美術文化活動に積極的に参加できる機会を提供するとともに、その体験を通じて相互交流の場を設ける。また、学校教育や他の社会教育活動との連携を図りながら実効ある教育普及活動を行う。

- ① 創作活動
- ② 鑑賞活動
- ③ 美術館講座、講演会等の開催
- ④ 映像の上映
- ⑤ 美術図書等の公開
- ⑥ 県民ギャラリーの運営
- ⑦ 美術館協力会との連携

##### (3) 美術に関する調査研究

本美術館の事業を充実させるため、その基礎となる調査研究を次のとおり行う。

- ① 本館所蔵作品に関する調査研究
- ② 宮城県の美術に関する調査研究
- ③ 国内外の近・現代美術に関する調査研究
- ④ 美術館における作品展示の方法等に関する調査研究
- ⑤ 美術作品の保存、整理に関する調査研究
- ⑥ 美術館における教育普及活動に関する調査研究
- ⑦ 美術の創作に関する材料及び技法の調査研究
- ⑧ その他の調査研究

##### (4) 美術作品等の収集、保存

優れた美術作品等を収集して常設展示内容の充実を図るとともに、美術作品等の散逸、損傷、亡失を防ぎ、これらを後世に伝えるため、長期的な年次計画に従い、正確な基礎調査に基づいて、美術作品、資料の収集、保存を行う。

##### (5) 広報活動

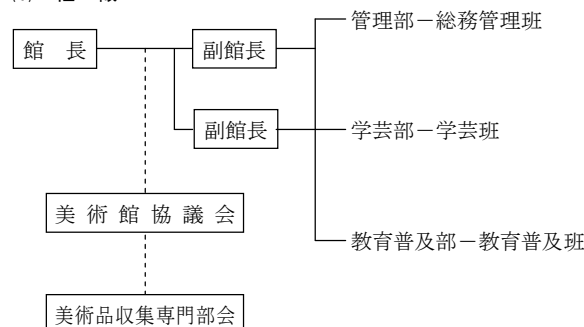
県民に親しまれる美術館として、所期の目的を達成するため、活発な広報活動を行う。

##### (6) 刊行物の出版

美術館活動及び調査研究の成果を公表し、芸術文化の向上に寄与する。

### 2 組織と予算

#### (1) 組織



#### (2) 宮城県美術館協議会

ア 第16次宮城県美術館協議会委員名簿(50音順)

No.	氏名	現職
1	泉 武夫	東北大学大学院教授
2	小笠原朋之	宮城県高等学校美育研究会会長
3	翁 ひろみ	彫刻家
4	加藤 千明	(公財)山形美術館長
5	加藤 義夫	(株)サン・ベンディング東北代表取締役
6	齋藤 啓子	武蔵野美術大学教授
7	武田 早苗	宮城県連合小学校教育研究会図画工作部会参与
8	二階堂千秋	主婦
9	福永 治	国立新美術館副館長
10	宮原 育子	宮城大学教授
11	盛 朋子	宮城テレビ放送報道制作局アナウンス部
12	渡辺 雅昭	河北新報社編集局生活文化部長兼編集委員

イ 平成23年度宮城県美術館協議会開催状況

平成23年9月29日(木)

- ・報告事項
  - ① 平成22年度宮城県美術館事業の実施結果について
  - ② 東日本大震災による被害と対応について
  - ③ 平成23年度宮城県美術館事業の実施計画について
  - ④ 前回の協議会における意見等に対する宮城県美術館の対応について
- ・協議事項
  - 宮城県美術館における教育普及活動について

#### (3) 予算

項目	金額(千円)
美術館費	289,684

### 3 事業

#### (1) 展示事業

国内外の優れた美術作品、資料などを体系的に展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供し芸術文化の向上に努めた。

ア 常設展示－本館所蔵美術作品を常時展示し、常設展を一層魅力あるものとするため特集企画展、小企画展も実施した。

イ 特別展示－国内外の優れた美術作品による特色ある企画展を実施した。

第6-2表

## 展示事業の入場者数

(単位:人)

展覧会名	開催期間 (開催日数)	個人			団体			その他	合計	
		一般	学生	小中高	一般	学生	小中高			
特別展	フェルメールからのラブレター展	23年10月27日～12月12日(47日間)	97,069	5,701	5,320	2,100	120	994	6,356	117,660
	クレールとカンディンスキーの時代	24年1月14日～3月14日(44日間)	5,974	792	392	270	12	357	1,122	8,919
	世界遺産 ヴェネツィア展	24年3月17日～3月31日(13日間)	10,304	613	738	323	16	9	745	12,748
	計	104日	113,347	7,106	6,450	2,693	148	1,360	8,223	139,327
常設展・特集企画展・小企画展	274日	35,865	2,780	3,797	2,461	193	1,164	10,337	56,597	
合計	274日	149,212	9,886	10,247	5,154	341	2,524	18,560	195,924	

※ 常設展の入場者は、本館常設展及び佐藤忠良記念館のみ開館時の記念館常設展の観覧者延数を記載。

## (2) 教育普及事業

県民の美術文化の向上及び創作活動の推進を図るため“だれでも、いつでも”自由に参加できる創作室運営を基盤に通年の日常活動と併せ、土曜・日曜を中心に作家の創作のありのままの姿に

ふれることを目的とした専門家による公開講座、公開制作を開催した。また、学校へ出向いての鑑賞活動や美術館講座、講演会、音楽会、ハイビジョンギャラリー、美術図書の公開など幅広く多彩な催しを行った。

## ア 創作室の通常活動

第6-3表

実施日	事業内容	講師	参加者数	会場
年間を通し開催(274日)	対団体等来館者美術館案内等	教育普及部職員	582人	館内
	美術探検(常設展をめぐって)	教育普及部職員	1,911人	展示室
	美術館探検(子供のための鑑賞)	教育普及部職員	1,961人	館内外
	美術なんでも相談	教育普及部職員	682人	創作室
	オープンアトリエ	教育普及部職員	4,922人	創作室
	ワークショップ	教育普及部職員	3,505人	創作室
計			13,563人	

※オープンアトリエ(創作室及び造形遊戯室の利用者)

## イ 移動創作室

第6-4表

実施日	実施対象	講師	参加者数
10月20日	福沢市民センター(シニア大学)	教育普及部職員	112人
11月11日	大崎市立古川第四小学校(古川地区教育研究会図工美術部会)	教育普及部職員	31人
11月30日	石巻市立大谷地小学校	教育普及部職員	59人
計			202人

ウ 公開講座・公開制作

第6-5表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
	<b>公開講座・おとなの図工</b>		<b>99人</b>	
5月21日	「おとな版リアル探検」	当館教育普及部職員	6	美術館内外
6月18日	身体のワークショップ part 1 確認	当館教育普及部職員	6	美術館創作室
7月16日	身体のワークショップ part 2 -内へ-	当館教育普及部職員	6	美術館創作室
8月20日	身体のワークショップ part 3 -外へ-	当館教育普及部職員	4	美術館創作室
9月17日	万華鏡散歩	当館教育普及部職員	8	美術館内
10月15日	土と/で遊ぶ	矢吹重光(染織家)	9	美術館創作室
11月19日	フェルメールの光を探す	当館教育普及部職員	15	美術館創作室
12月17・18日	美術館の彫刻作品のミニチュアをつくる	当館教育普及部職員	20	美術館創作室
2月18日	美術探検一本物(実践)	当館教育普及部職員	15	美術館内外
3月17日	美術館探検一本物(助っ人)	当館教育普及部職員+半澤夏実(青葉の森レンジャー)	10	美術館内外
	<b>公開制作</b>		<b>2,216人</b>	
8月24日～12月12日	「リヤカメラの制作」	佐藤時啓(美術家・写真家, 東京芸術大学美術学部教授)		創作室ほか
8月24日～28日	1. 制作	〃	69	創作室
8月27日	2. レクチャー「光とアート」	〃	55	アートホール
8月28日	3. ワークショップ「虫眼鏡で作るカメラ」	〃	36	創作室
9月11日～12月12日	4. リヤカメラ乗車体験ワークショップ	当館教育普及部職員+ボランティア	2,056	美術館前庭
計			2,315人	

エ 美術館講座

第6-6表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
	まちなか美術講座(東北工業大学一番町ロビー4F)		<b>206人</b>	
6月4日	第20回「平福百穂-交錯する画法・技法」	当館学芸員	20	東北工業大学一番町ロビー
8月6日	第21回「異才・北大路魯山人の芸術」	当館学芸員	27	〃
10月1日	第22回「いつでも見られる特別展-常設展の魅力」	当館学芸員	15	〃
12月13日	第23回「フェルメールの愉しみ」	当館学芸員	114	〃
2月4日	第24回「ドイツ近代美術への招待」	当館学芸員	30	〃
	宮城県美術館コレクション散歩 3『再現でなく表現を』 (みやぎ県民大学)		<b>252人</b>	
1月14日	「日本画の反逆児と未来派の出会い」	当館学芸員	70	アートホール
1月21日	「内なる風景の描出」	当館学芸員	62	アートホール
1月28日	「内的響きの絵画への道」	当館学芸員	65	アートホール
2月4日	「20世紀絵画としての文人画」	当館学芸員	55	アートホール

オ 講演会等  
第6-7表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
	<b>展覧会関連事業</b>		人	
11月26日	「フェルメールとエリセをめぐって」(対談)	宮岡秀行(映画作家・映画評論家)・ 当館副館長	120	せんだいメディアテーク
2月12日	「ふたつの美術館とコレクション」(対談)	谷新(宇都宮美術館長)・ 西村勇晴(北九州市美術館長)	90	アートホール
3月25日	「ヴェネツィアー都市と芸術」(講演会)	京極啓徳(北九州大学准教授)	140	アートホール
	<b>特別展展示解説</b>			
10月29日	「フェルメールからのラブレター展」	当館学芸員	168	アートホール
11月17日	「フェルメールからのラブレター展」	当館学芸員	200	アートホール
12月8日	「フェルメールからのラブレター展」	当館学芸員	280	アートホール
1月15日	「クレールとカンディンスキーの時代展」	当館学芸員	50	展示室
2月5日	「クレールとカンディンスキーの時代展」	当館学芸員	50	展示室
3月4日	「クレールとカンディンスキーの時代展」	当館学芸員	65	展示室
	<b>常設展(特集企画展)展示解説</b>			
8月27日	「絵本原画 名品展」	当館学芸員	15	展示室
9月17日	「絵本原画 名品展」	当館学芸員	15	展示室
	<b>常設展(小企画展)展示解説</b>			
7月24日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	0	展示室
8月28日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	2	展示室
9月25日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	6	展示室
10月23日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	1	展示室
11月23日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	18	展示室
12月18日	「宮城の画家 大沼かねよ・二宮不二麿・加藤正衛」	当館学芸員	4	展示室
1月29日	「日本人作家のニューヨーク」	当館学芸員	10	展示室
2月26日	「日本人作家のニューヨーク」	当館学芸員	20	展示室
3月25日	「日本人作家のニューヨーク」	当館学芸員	14	展示室
計			1,268	

カ 公演会  
第6-8表

実施日	事業内容	講師	参加人数	会場
	ジャズ・イン・ミュージアム		人	
9月10日	「サバトセラ東北」	綾戸智恵ほか	1,500	美術館中庭
	クラシック・イン・ミュージアム			
9月12日	「震災復興支援 丸山泰雄チェロ・ソロコンサート」	丸山泰雄	200	エントランスホール
計	2企画		1,700	

キ ハイビジョンギャラリー  
第6-9表

実施月	事業内容	受講者数
		人
7月	シカゴコレクション	68
8月	近代絵画の断面	123
9月	絵巻の世界その一 /都市の表情	134
10月	絵巻の世界その二 /名曲美術館・ウィーン美術史美術館 I	140
11月	オルセー美術館 I /名曲美術館・ウィーン美術史美術館 II	200
12月	日本で見られる19世紀フランス美術	147
1月	19世紀の絵画運動	51
2月	ルーヴル美術館 I /名曲美術館・エルミタージュ美術館 I	119
3月	ルーヴル美術館 II /名曲美術館・エルミタージュ美術館 II	188
計		1,170

(3) 貸館事業

美術文化活動の活発化と創作活動の推進を図るため、創作作品の展示の場として、県民ギャラリーを広く一般に貸し付け、美術文化の振興に努めた。

第6-11表 県民ギャラリー使用状況

月	ギャラリー1 貸付日数	ギャラリー2 貸付日数	合 計		
			貸付延日数	企画数	観覧者数
	日	日	日	件	人
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	22	22	44	5	5,240
8月	17	17	34	4	3,408
9月	5	10	15	2	2,538
10月	17	0	17	3	1,357
11月	29	29	58	5	9,511
12月	18	18	36	4	2,051
1月	12	12	24	2	3,474
2月	28	23	51	6	3,106
3月	23	23	46	4	2,982
計	171	154	325	35	33,667

※企画が月をまたがる場合は前月分とする。

ク 図書室利用状況  
第6-10表

実施月	公開日数	利用者数	左のうちビデオブース利用者数
	日	人	人
4月	0	0	0
5月	27	84	0
6月	26	96	3
7月	27	172	0
8月	26	255	0
9月	26	194	5
10月	27	170	1
11月	30	424	6
12月	18	234	0
1月	15	128	0
2月	25	182	0
3月	27	216	1
計	274	2,155	16